

昭和50年度第4回通常総会議事録

日時 昭和50年4月25日(金)午後2時～3時
場所 第一勧業銀行八重洲口支店会議室(東京都中央区八重洲1-8-17)
出席者 森口繁一他711名(内委任状による出席者689名)

議事録署名人 池田 孝[㊟]
 " 藤野 和 建[㊟]

1. 昭和49年度事業報告書

1. 研究発表会

- (1) 4月6日, 7日の両日, 東京工業大学第4新館において, 第35回研究発表会を開催し, 翌4月8日は, 成田新国際空港を見学した.

特別テーマ 資源問題 5件

特別講演 3件

一般発表 56件

- (2) 10月16日, 17日の両日, 宮城県民会館(仙台市)において, 第36回研究発表会を開催し, 翌10月18日, 東北電力新仙台火力発電所, 東北石油仙台製油所, および松島を見学した.

特別テーマ ORと教育 5件

特別講演 3件

一般発表 68件

2. 総 会

- 4月27日, 文京区民センターにおいて, 定期総会を開いた. 続いて, 森口新会長による講演が行なわれた.

3. 理 事 会

- 昭和49年5月30日より, 50年4月9日を最後として計7回開催した.

4. 各 委 員 会

編集委員会 5回 研究普及委員会 6回

表彰委員会 1回 大会実行委員会 3回

IAOR委員会 10回 広告委員会 3回

5. 国 際 協 力

- (1) IAOR (International Abstracts in Operations Research) 誌の発行に協力し, IAORのために国内頒布を行った.

- (2) 1975年のオペレーションズ・リサーチ合同国際会議の日本開催にともない準備を進めた.(詳細別記)

6. 刊 行 物

- 「経営科学」第18巻2・3・4・5・6号, 第19巻1号, 及び「JORSJ」VOL.17, No.1・2・

上記のとおり出席者が定款に定める定足数に達したので, 定款第28条により森口繁一会長が議長となり, 議事録署名人に池田 孝, 藤野和建の両氏を選出して議事に入る.

第1号議案 昭和49年度事業報告の件

池田理事が昭和49年度事業報告(別紙)を行ない, 異議なく承認された.

第2号議案 昭和49年度収支決算報告の件

松島理事が昭和49年度収支決算報告(別紙)を行ない, 異議なく承認された.

第3号議案 昭和50年度事業計画の件

池田理事が昭和50年度事業計画(別紙)を説明し, 原案のとおり承認された.

第4号議案 昭和50年度収支予算の件

松島理事が昭和50年度収支予算(別紙)を説明し, 原案のとおり承認された.

第5号議案 昭和50年度役員選任の件

昭和50年度役員を別紙のとおり選出した.

第6号議案 名誉会員の件

議長より理事会は定款第6条により名誉会員として, 小野前会長を推薦する旨計ったところ, 異議なく承認された.

上記で議案の審議を終了し, 第3回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞の発表並びに表彰に入った.

横山表彰委員長より選考経過の説明があり, 会長より高橋幸雄氏に第3回オペレーションズ・リサーチ学会文献賞が授与された.

以上で総会の議事を終了し, 議長は閉会を宣した.

上記議決を明確にするため, この議事録を作成し, 議事録署名人は, ここに記名押印する.

昭和50年6月6日

議 長 森 口 繁 一[㊟]

3・4を発行した。

7. 研究会活動

下記の研究部会が活発な研究活動を行なった。

中小企業のためのOR, システム・ダイナミックス, 政策分析, マネジメント・システム, 交通システム

なお, 中小企業のためのOR部会は, 49年度でその活動を終了した。

研究部会活動一覧表

部会名	主幹	査事	メンバー出席者	研究会	内 容	場 所
中小企業のためのOR	ト伊	部井	16名	月2回	「広告問題」をテーマとして設定し, 4つの分科会でいくつかの方法論を展開し, 実例研究を行った。	千葉工業大学
システムダイナミックス	島木	田村	38名	月1回	地域モデルを中心にとりあげて, 逐別討論を行った。	明治大学大学院会議室
政策分析	福細	島貝	21名	月1回	共通の土俵づくりのため, 関係資料の紹介や個人研究の発表を行った。	三菱総合研究所会議室
マネジメントシステム	星若	井	15名	月1回	企業におけるマネジメント・システムを調査研究した。	各員の持ち回り
交通システム	矢富	部沢	26名	月1回	問題発見のために充分時間を注いだ。前半はIFORSワークショップに協力した。	東洋経済新報社会議室

8. 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

(1) 第2回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞の選考を行なったが, 該当者がなかったので, 授賞は行なわれなかった。

(2) 第3回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞の選考を行ない, 下記の通り決定した。
 “A Sequencing Model with an Application to Speed Class Sequencing in Air Traffic Control”
 東北大学 高橋 幸雄

9. 普及活動

(1) 金曜サロンを研究普及委員会の主催で, ランダムに選ばれた会員とORに関するテーマを決めて話しあい, 記録を「経営科学」に掲載した。10月よりORサロンと改称した。

(2) 月例講演会を以下のとおり行なった。

第36回	本 部	3月	有限数学と社会科学	銀林 浩
37	”	5月	都市ORの展望	安田八十五
38	”	7月	組合せ数学の潮流	高橋 啓郎
39	北海道	8月		

都市システムの一側面 伊藤 滋

40 本 部 8月

I) Some Remarks on Dynamic Programming with Applications to Gambling Models Sheldon Ross

II) Optimal Matching

Morris H. DeGroot

41 中国・四国 11月

在庫管理の問題点と展望 春日井 博

42 中 部 1月

企業経営及び行政とOR 矢部 真

43 本 部 2月

地域問題へのシステムアプローチ

松崎 功保

10. 支部活動

支部活動報告書

	北海道	東 北	中 部	関 西	中国・四 国	九 州
運営会議	3回	支部総会 1回 運営委員会 1回 幹事会 1回	支部総会 1回 運営委員会 2回 幹事会 5回	支部総会 1回 運営委員会 2回	支部総会 1回 幹事会 5回	運営委員会 2回
研究会	4回	2回	7回	OR研究講演会 8回	4回	九州OR共同研究会 4回 福岡地区OR共同研究会 4回
講演会	1回	1回	1回	1回	6回	
出版			支部研究発表会 1回 トラクト集 2回 中部ORノート 2回 支部ニュース 10回			
その他	総会 1回	秋季研究発表会に協力	研究発表会 1回 講演会 1回 見学会 1回 懇親ハイキング 1回		広島市民講座に講師派遣	

11. 研究調査受託

テーマ 「都市公共政策システム分析に関する調査研究」

依頼者 情報処理研修センター

このテーマについて委員会を設け, 研究を行ない報告書資料をまとめた。

12. 会員情況

	名誉会員	正 会 員	学生会員	賛助会員
1974年2月末	4	1,550	167	123
1974年度入会		180	63	9
1974年度移行		41	-41	

1974年度退会		-70	-4	-7
1974年度整理		-27	-1	
1975年度2月末	4	1,674	184	125
	名誉会員	正会員	学生会員	賛助会員
本部	4	1,097	137	78
北海道		37	2	4
東北		50	1	2
中部		106	12	14
関西		223	27	16
中国・四国		110	4	6
九州		51	1	5
合計	4	1,674	184	125

13. オペレーションズ・リサーチ合同国際会議
- (1) 準備組織を改組し、諸活動を推進した。
 - (2) 「参加と論文発表のご案内」を製作し、全会員に配布した。
 - (3) 「OR学会だより」に国際会議ニュースを掲載した。
 - (4) 「日本開催のプログラム」を“エンジニア”誌に掲載し、抜刷を配布した。
 - (5) “OR in JAPAN”の編集を推進した。
 - (6) 募金活動を推進した。
 - (7) 第7回国際OR会議

- 1) 「会議のしおり」を作成し配布した。
 - 2) 「会議登録案内」及び「登録用紙」を作成し配布した。
 - 3) 会場の手配を完了した。
- (8) 経営科学国際学会第22回大会
- 1) 「登録用紙」を作成し、配布した。
 - 2) 会場の手配を完了した。

2. 昭和49年度収支決算報告書

1. 財産目録

昭和50年2月28日現在

〔1〕総括表

単位円

区分	基本財産	運用財産	計
資産	5,000,000	16,004,508	21,004,508
負債	0	12,355,723	12,355,723
差引残高	5,000,000	3,648,785	8,648,785

〔2〕資産の部

科目	摘要	基本財産	運用財産	計
現金		0	68,547	68,547
振替貯金		0	1,631,417	1,631,417

当座預金	第一勧業銀行八重洲口支店	0	1,075,374	1,075,374
	住友銀行白山支店	0	64,051	64,051
普通預金	第一勧業銀行八重洲口支店	0	3,229,508	3,229,508
	住友銀行白山支店	0	1,644,170	1,644,170
定期預金	第一勧業銀行八重洲口支店	0	2,500,000	2,500,000
	住友銀行白山支店	5,000,000	0	5,000,000
	預金小計	5,000,000	10,144,520	10,144,520
未収金		0	5,120,561	5,120,561
備品		0	670,880	670,880
	合計	5,000,000	16,004,508	21,004,508

〔3〕負債の部

科目	摘要	基本財産	運用財産	計
預り金		0	189,259	189,259
未払金		0	2,438,999	2,438,999
前受金	主として会費前受金	0	7,789,144	7,789,144
退職手当引当金	当学会退職規定による	0	1,938,321	1,938,321
	合計	0	12,355,723	12,355,723

注：資産および負債の「科目」は貸借対照表の科目名を示す。

2. 貸借対照表

昭和50年2月28日現在

単位円

借方			貸方		
科目	期首	期末	科目	期首	期末
I 流動資産			I 流動負債		
現金	255,131	68,547	預り金	378,442	189,259
振替貯金	184,160	1,631,417	未払金	1,460,377	2,438,999
当座預金	1,179,280	1,139,425	前受金	7,810,352	7,789,144
普通預金	4,102,390	4,873,678	<合計>	9,649,171	10,417,402
未収金	6,032,330	5,120,561	II 引当金		
<合計>	11,753,291	12,833,628	退職手当引当金	1,504,110	1,938,321
II 固定資産			<負債合計>	11,153,281	12,355,723
定期預金	6,500,000	7,500,000	III 基本財産		
備品	690,880	670,880	基本財産	5,000,000	5,000,000
敷金	641,760	0	別途積立金	3,756,306	3,756,306
<合計>	7,832,640	8,170,880	当期運営費	△723,019	216,135
			前期繰越金	399,363	△323,656
			<基本財産合計>	8,432,650	8,648,785
<合計>	19,585,931	21,004,508	<合計>	19,585,931	21,004,508

3. 収支決算書

自 昭和49年3月1日

至 昭和50年2月28日

〔1〕総括表

単位円

区 分	歳 入	歳 出	差引残高
一般会計	24,941,352	24,725,217	216,135
特別会計	15,465,523	5,899,305	9,566,218
計	40,406,875	30,624,522	9,782,353

〔2〕 一般会計

歳入の部

科 目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
I 会費収入				
正会員会費	8,640,000	8,293,202	△346,798	
学生会員会費	624,000	517,053	△106,947	
賛助会員会費	10,800,000	10,810,000	10,000	
入会金	250,000	210,500	△39,500	
〈計〉	20,314,000	19,830,755	△483,245	
II 事業関係収入				
会誌頒布収入	504,000	1,032,800	528,800	
資料等頒布収入	446,000	532,900	86,900	
IAOR収入	162,000	161,070	△930	
研究発表会収入	970,000	1,378,000	408,000	
〈計〉	2,082,000	3,104,770	1,022,770	
III その他収入				
広告掲載料収入	1,200,000	832,537	△367,463	
預貯金利息	420,000	547,929	127,929	
雑収入	250,000	468,232	218,232	
〈計〉	1,870,000	1,848,698	△21,302	
〈当期歳入合計〉	24,266,000	24,784,223	518,223	
シンポジウム収入	0	91,340	91,340	
退職金取崩し	0	65,789	65,789	
〈歳入合計〉	24,266,000	24,941,352	675,352	

歳出の部

科 目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
I 事業費				
1. 研究発表会				
大会開催費	820,000	1,129,815	309,815	
大会関係印刷費	780,000	972,955	192,955	
〈計〉	1,600,000	2,102,770	502,770	
2. 学会誌等刊行費				
経営科学	2,268,000	2,575,463	307,463	
J. O. R. S. J	1,496,000	1,654,714	158,714	
OR学会だより	423,000	337,050	△85,950	
審査料等	640,000	270,000	△370,000	
報文集等	627,000	175,560	△451,440	
〈計〉	5,454,000	5,012,787	△441,213	
3. 国際協力費				
IAOR購入費	148,000	170,000	22,000	
IFORS会費	95,000	126,000	31,000	
IAOR抄録代等	80,000	29,000	△51,000	
〈計〉	323,000	325,000	2,000	
4. 研究活動費				
講演会開催費	112,000	90,000	△22,000	
研究部会費	150,000	150,000	0	
支部費	1,186,000	1,200,000	14,000	
〈計〉	1,448,000	1,440,000	△8,000	
5. 記念事業費	245,000	132,000	△113,000	
6. 事業関係諸経費				
会議費	360,000	208,060	△151,940	

旅費交通費	320,000	124,260	△195,740
通信配送費	740,000	421,762	△318,238
給与・手当	2,960,000	2,821,018	△138,982
〈計〉	4,380,000	3,575,100	△804,900
7. その他費用			
雑費	67,000	6,500	△60,500
予備費	150,000	0	△150,000
〈計〉	217,000	6,500	△210,500
〈事業費合計〉	13,667,000	12,594,157	△1,072,843
II 運営費			
1. 事務所費			
事務所賃借料	1,284,000	1,352,280	68,280
光熱水道料	355,000	458,400	103,400
備品費	220,000	198,400	△21,600
〈計〉	1,859,000	2,009,080	150,080
2. 事務用諸経費			
会議費	300,000	208,720	△91,280
旅費交通費	841,000	381,270	△459,730
通信費	900,000	671,540	△228,460
印刷費	500,000	316,898	△183,102
消耗品費	500,000	513,068	13,068
雑費	150,000	174,185	24,185
〈計〉	3,191,000	2,265,681	△925,319
3. 人件費			
給与・手当	2,432,000	2,821,018	389,018
福利厚生費	405,000	278,550	△126,450
諸給	60,000	0	△60,000
退職手当引当金繰入額	0	500,000	500,000
〈計〉	2,897,000	3,599,568	795,418
4. 支払手数料			
事務委託費	400,000	660,037	260,037
振替手数料	24,000	23,025	△975
〈計〉	424,000	683,062	259,062
5. 公租公課手数料	60,000	19,080	△40,920
6. 予備費	150,000	0	△150,000
7. 退職金	0	65,789	65,789
8. 損金	0	3,488,800	3,488,800
〈運営費合計〉	8,581,000	12,131,060	3,550,060
〈当期歳出合計〉	22,248,000	24,725,217	2,477,217
〈当期残高〉	2,018,000	216,135	△1,801,865

特別会計へ1/4振替

特別会計へ1/4振替

4. 特別会計

〔1〕 貸借対照表

昭和50年2月28日現在

借 方		貸 方	
I 流動資産			
現金	608,679	未払金	1,906,861
預金	9,790,030	当期運営残	9,566,218
貸付金	60		
仮払金	1,074,310		
合 計	11,473,079	合 計	11,473,079

〔2〕 特別会計収支決算書

歳入の部				単位円
科 目	予算額	決算額	増減(△)	摘 要
募金収入	18,000,000	16,861,000	△1,139,000	
雑収入	0	123,453	123,453	

前年度より繰越金	△ 1,518,930	△ 1,518,930	0
合計	16,481,070	15,465,523	△ 1,015,547

歳出の部

科目	予算額	決算額	増減(△)	摘要
研究会費	1,500,000	0	△ 1,500,000	
会議費	260,000	249,604	△ 10,396	
印刷費	490,000	70,560	△ 419,440	
資料作成費	360,000	0	△ 360,000	
通信費	600,000	166,182	△ 433,818	
送費	180,000	0	△ 180,000	
旅費交通費	1,150,000	435,650	△ 714,350	
消耗品費	300,000	170,385	△ 129,615	
広報費	1,800,000	209,100	△ 1,590,900	
事務局費	2,150,000	2,404,931	254,931	
参加費	0	1,550,000	1,550,000	
雑費	210,000	61,423	△ 148,577	
募金経費	1,500,000	581,470	△ 918,530	
合計	10,500,000	5,899,305	△ 4,600,695	

差引9,566,218円の繰越となる。

3. 昭和50年度事業計画

1. 研究発表会、シンポジウムおよび総会

(1) 研究発表会は春、秋2回開催し、春季は東京において、秋季は大阪において開催する。さらに見学会を春、秋に研究発表会と同時に行なう。

特別テーマは春季は「社会的提言とOR」、秋季は「マネジリアル・コントロールにおけるOR」とする。

(2) 定期総会は東京において行なう。

2. 刊行物

(1) 「経営科学」を6号、「JORSJ」を4号発行する。

(2) 研究発表アブストラクト集を2回発行する。

(3) 報文集の編集及び発行を適宜行なう。

(4) 「OR事典」の編集発行

学会の法人化を記念し、(財)日本科学技術連盟と協力して、「OR事典」を発行する。

3. 国際協力

(1) 国内のOR文献の欧文抄録の作成を通じIA-OR誌の発行に協力する。

(2) オペレーションズ・リサーチ合同国際会議を日本で開催する。(詳細別記)

(3) 来日するOR専門家との接触の機会を密にする。

4. 研究活動

システム・ダイナミックス、政策分析、マネジ

メント・システム、交通システムの4部会の活動をひきつづき推進するとともに、熱エネルギー管理による北海道稲作冷害対策、ORのためのデータとプログラムの2部会を新設し、その活動を開始する。

5. 普及活動

月例講演会、講習会、座談会、その他のOR普及活動を適宜行なう。

6. 研究調査

適当な機関からの研究調査委託に応ずる。

7. 支部活動

各支部において研究会、講演会、見学等の活動を行なう。

8. 日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞

第4回日本オペレーションズ・リサーチ学会文献賞の選考を行なう。

9. 受賞推薦

他の学協会の依頼に応じ、受賞候補者等の推薦に協力する。

10. 会員増強

会員増強活動を活発に行なう。

11. 他学協会との交流

他学協会との交流を積極的に進める。

12. オペレーションズ・リサーチ合同国際会議

(1) 第7回国際OR会議開催

1) 「プログラム小冊子」を製作、配布する。

2) 参加登録を受付け、処理する。

3) 準備を完了する。

4) 7月17日より23日まで、本会議を開催する。

(2) 経営科学国際学会第22回大会

1) 「会議特集号(インターフェイス)」を配布する。

2) 参加登録を受付け、処理する。

3) 準備を完了する。

4) 7月23日より26日まで、本大会を開催する。

(3) “OR in JAPAN”を刊行する。

(4) 広報活動を行なう。

(5) 募金活動を完了する。

(6) 合同国際会議終了報告書の作成をする。

4. 昭和50年度収支予算書

自 昭和50年3月1日
至 昭和51年2月29日

〔1〕 総括表 単位円

	歳入予算額	歳出予算額	差引残高	摘要
一般会計	23,767,479	23,755,000	12,479	
特別会計	27,566,218	27,566,218	0	
計	51,333,697	51,321,218	12,479	

〔2〕 一般会計予算書

歳入の部

科 目	50年度 予算額	49年度 予算額	増減(△)	摘要
I 会費収入				
正会員会費	8,160,000	8,640,000	△ 480,000	
学生会員会費	468,000	624,000	△ 156,000	
賛助会員会費	10,500,000	10,800,000	△ 300,000	
入会金	175,000	250,000	△ 75,000	
〈計〉	19,303,000	20,314,000	△ 1,011,000	
II 事業関係収入				
会誌頒布収入	600,000	504,000	96,000	
資料等頒布収入	200,000	446,000	△ 246,000	
IAOR収入	252,000	162,000	90,000	
研究発表会収入	1,970,000	970,000	1,000,000	
〈計〉	3,022,000	2,082,000	940,000	
III その他収入				
広告掲載料収入	710,000	1,200,000	△ 490,000	
預貯金利子	540,000	420,000	120,000	
雑収入	300,000	250,000	50,000	
〈計〉	1,550,000	1,870,000	△ 320,000	
〈当期収入合計〉	23,875,000	24,266,000	△ 391,000	
前年度より繰越金	△ 107,521	△ 323,656	216,135	
〈合計〉	23,767,479	23,942,344	△ 174,865	

歳出の部

科 目	50年度 予算額	49年度 予算額	増減(△)	摘要
I 事業費				
1. 研究発表会				
大会開催費	1,070,000	820,000	250,000	
大会関係印刷費	1,000,000	780,000	220,000	
〈計〉	2,070,000	1,600,000	470,000	
2. 学会誌等刊行費				
経営科学	2,400,000	2,268,000	132,000	
J. O. R. S. J	1,420,000	1,496,000	△ 76,000	
OR学会だより	0	423,000	△ 423,000	
審査料等	400,000	640,000	△ 240,000	
報文集等	0	627,000	△ 627,000	
〈計〉	4,220,000	5,454,000	△ 1,234,000	
3. 国際協力費				
IAOR購入費	135,000	148,000	△ 13,000	
IFORS会費	100,000	95,000	5,000	
IAOR抄録代等	22,000	80,000	△ 58,000	
〈計〉	257,000	323,000	△ 66,000	
4. 研究活動費				
講演会開催費	81,000	112,000	△ 31,000	
研究部会費	130,000	150,000	△ 20,000	
支部費	1,228,000	1,186,000	42,000	

〈計〉	1,439,000	1,448,000	△ 9,000	
5. 記念事業費	200,000	245,000	△ 45,000	
6. 事業関係諸経費				
会議費	220,000	360,000	△ 140,000	
旅費交通費	129,000	320,000	△ 191,000	
通信配送費	768,000	740,000	28,000	
給与・手当	4,900,000	2,960,000	1,940,000	
〈計〉	6,017,000	4,380,000	1,637,000	
7. その他費用				
雑費	93,000	60,000	33,000	
予備費	200,000	150,000	50,000	
印刷費	47,000	7,000	40,000	
〈計〉	340,000	217,000	123,000	
〈事業費合計〉	14,543,000	13,667,000	876,000	
II 運営費				
1. 事務所費				
事務所賃借料	1,818,000	1,284,000	534,000	
光熱水道料	554,000	355,000	199,000	
備品費	0	220,000	△ 220,000	
〈計〉	2,372,000	1,859,000	513,000	
2. 事務用諸経費				
会議費	230,000	300,000	△ 70,000	
旅費交通費	301,000	841,000	△ 540,000	
通信費	700,000	900,000	△ 200,000	
印刷費	427,000	500,000	△ 73,000	
消耗品費	592,000	500,000	92,000	
雑費	141,000	150,000	△ 9,000	
〈計〉	2,391,000	3,191,000	△ 800,000	
3. 人件費				
給与・手当	3,019,000	2,432,000	587,000	
諸給	0	60,000	△ 60,000	
退職手当引当金繰入額	200,000	0	200,000	
福利厚生費	240,000	405,000	△ 165,000	
〈計〉	3,459,000	2,897,000	562,000	
4. 支払手数料				
事務委託費	0	400,000	△ 400,000	
振替手数料	20,000	24,000	△ 4,000	
〈計〉	20,000	424,000	△ 404,000	
5. 公租公課手数料	20,000	60,000	△ 40,000	
6. 予備費	100,000	150,000	△ 50,000	
7. 保険税金	575,000	0	575,000	
8. 減価償却費	275,000	170,000	105,000	
〈運営費合計〉	9,212,000	8,751,000	461,000	
〈当期歳出合計〉	23,755,000	22,418,000	1,337,000	

〔3〕 特別会計予算書

歳入の部 単位円

	予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
募金収入	18,000,000	18,000,000	0	
前年度より繰越金	9,566,218	1,518,930	11,085,148	
計	27,566,218	16,481,070	11,085,148	

歳出の部

	予算額	前年度予算額	増減(△)	摘要
研究会費	1,500,000	1,500,000	0	
会議費	260,000	260,000	0	
印刷費	540,000	490,000	50,000	
資料作成費	1,150,000	360,000	790,000	
通信費	1,600,000	600,000	1,000,000	

発 送 費	1,680,000	180,000	1,500,000	事務局費	2,200,000	2,150,000	50,000
旅費交通費	1,400,000	1,150,000	250,000	雑 費	187,639	210,000	△ 22,361
大会本部費	1,000,000	0	1,000,000	募金経費	1,400,000	1,500,000	△ 100,000
招 宴 費	2,165,000	0	2,165,000	予 備 費	5,333,579	0	5,333,579
参 加 費	5,950,000	0	5,950,000	計	27,566,218	10,500,000	17,066,218
消 耗 品 費	200,000	300,000	△ 100,000				
広 報 費	1,000,000	1,800,000	△ 800,000				

『OR事典』近刊予告

A5判, 700ページ, 上製箱入, 定価15,000円

ご存知の向きも多いと思われるが、本書はORの新たなる発展とより広範な普及定着をはかることを目的として企画され、その作業は日本OR学会とORの普及団体である(財)日本科学技術連盟および朝日科技連出版社との一糸乱れぬ協力のもとに行なわれているもので、8月25日に刊行される。

おもな内容は、基礎編においては現在までに開発された手法が辞引きとして活用できるように要領よくまとめられている。事例編では、300の数にのぼる事例を紹介している。さらに基礎編の各項目と各事例の対応づけがなされ読者の便が図られている。また付録として、経営者向きOR早わかり、経営科学関係の年表、国内外のOR教育の実態とその分析、各種数学公式・図表、OR用語対応外国語等々が付されている。

これらの原稿を完成させるのに実に1,000人(延べ)が動員された。また各種アンケートにより大学・官庁・企業から貴重なデータをお寄せいただいた。まさに本書はOR関係情報の現時点における集大成といえる。

なお、昭和50年8月25日までに申し込まれた会員の方にかぎり12,000円(送料240円)でお頒けします。

申込先：(社)日本オペレーションズ・リサーチ学会
113東京都文京区弥生2丁目4番16号(学会センタービル)

マネジメント・サイエンス誌よりの論文募集

—LEISURE-TIME INDUSTRY について—

マネジメント・サイエンス誌では、人間の余暇活動が社会活動の中で今後ますます重要な位置を占めるとの観点から、表記に関する特集号の発行を企画し、このたび当学会宛論文募集案内の協力を依頼してまいりました。

この特集号の主旨は、オペレーションズ・リサーチ/マネジメント・サイエンスの技術を余暇産業の各種分野に適用した応用例を一つにまとめ、この分野の応用にさらに多くの研究・実務家の参加を勧誘することにあります。当号は招待論文ならびに応募論文の両方より構成され、論文内容は余暇産業のすべての面、たとえば観光、旅行、リクレーション、ギャンブル、学芸、宿泊等を扱うものとします。最適化研究(たとえばアミューズメント・パークの最適利用、カントリー・クラブ、公園、自然保護地域等の公私施設の最適配置)はとくに歓迎することです。統計解析、実用例、その他小論文ももちろん結構です。応募希望者は下記に従ってふるってご参加ください。

論文編集者：

Shaul P. Ladany, Ben Gurion University of the Negev (Dept. of Industrial Engineering, Beer Sheva, Israel)

V. Kerry Smith, State University of New York at Binghamton (Dept. of Economics, Binghamton, New York 13901)

応募方法：

応募希望者は、扱うトピックの梗概を上記2編集者に同時にお送りください。最終論文(4+4部)の締切りは1976年1月15日です。

なおすべての応募論文は、通常の審査過程を経ることになっています。